

四谷の

千枚田だより



第175号

成果報告会

三月四日、平成二十九年度めざせ明日のまちづくり事業補助金・地域活動交付金事業成果報告会が新城文化会館で開催された。同市は市全体で活動する五団体に「まちづくり事業補助金」地域自治区の一〇一団体に「地域活動交付金」を交付しており、そのうち、四団体が成果発表を行った。

鞍掛山麓千枚田保存会から松下誠(会計)が発表を行った。

報告内容(要約) この事業に当初から乗っかかり、五年間の最終年度が終了、その節目として、ここに報告する。まず、耕作者をはじめ、地域住民の意識再認識を図るため、周知の啓発としての交流活動実践、景観保全、各種イベント、学習活動など具体的な活動の説明、事業成果と展望では、「世間に知らしめること」は一定の成果があったものとして「癒し空間の保全」は来訪者への配慮、耕作意欲の向上にも繋がっていることは証されているが、継続的な

交流活動保全活動の実践が「四谷の千枚田」を輝き続けさせる、唯一の方策である。と発表を結んだ。

平成の九六鋏サ

与良木の武典サ(原田武典)は半世紀来の凍てつく寒さの中、千枚田の石積に余念がない。



冷やかしに時々、行って見ているが、どうも、一日に一個の石を張り付けられるか、どうか、やっとこさだ。それでも、若い衆が田んぼを作っ

てくれるちゅうもんで、ジジイがこつこつと、何とか田植に間に合えりあいいと思つてのん。と屈託がないそうそう、前号に掲載した「小野組」の集団移転した先祖のほとんどが「九六鋏サ」で、そのDNAを武典サも汲んだ。

保存会役員会

二月二十三日、保存会定例役員会を行った。冒頭、会長は例年になく寒い冬で、田んぼも凍てつき、冬起も難儀であったこと、また、お田植え感謝の夕べ、収穫感謝祭も何とか「雀の涙」程度の黒字を得たことは喜ばしい事であったと挨拶。

議事

- ① 第四回パワートレイル・エイドス テーション協力について
- 行政から四谷区長に依頼があり、四谷区は五十戸余りの小集落で九百人のエントリー者の接待は不可能であり、今年も区長様から保存会に協力依頼があった。その区長様も年度替わりの区長様で、大会は新区

長様になる矛盾はあるものの、地域にとつては大きな行事であることから連谷地域全体に呼びかけ、協力することとなった。問題は「しし汁」のイノシシの確保である。

② 事業・会計中間報告

会計から報告がなされた。

③ 総会について

新役員選出(案)について

会長から、私は七十七歳で、いつ何時、保存会に迷惑をかけるやも知れないから、後進に道を譲りたいと提言。毎年、この議題になると、全員がなぜか静かになってしまう。

④ その他

○ 橋の補修要望について
ふるさと水と土ふれあい事業(平成十四年)において整備された三か所の木橋も防腐剤の塗布が必要でないか。また、遊歩道(作業道)舗装の「剥がれ」が目立ってきた。等々の提案があった。

○ 新年度事業の確認

横浜ゴム新入社員研修など

奥三河パワートレイル

開催日 平成三十年四月二十二日
地域の皆さんで大会を成功させよう

水田耕作の現状

旧海老町(旧鳳来町)から四谷の千枚田までの沿道には多くの水田が耕されていたが、今はほとんどが耕作放棄されている。

その状況を現時点で見ると、海老副川から滝上までの水田耕作地はなく、池の島で一戸、松下・真菰三戸、身平橋一戸(内二戸は保存会員)のみで、他は若干の自主管理はあるものの、ほとんどがセイタカアワダチソウなどの雑草が生い茂っている。その、状況を垣間見ながら都市近郊から四谷の千枚田を訪れる人々は、ここ、三十年間、減らすこともなく先祖の遺産、景観保護に邁進する百姓を「バカだなあ」と、とか、「苦勞なこつた」など、どう思ってみてくれるか、人さままだ。かつては、中山間地等直接支払制度などの交付金支援があったものの、一期五年の「縛り」があまりにもきつく、例えば、誰か、怪我でもして耕作できなくなった場合は、全責任で遡かのぼって全額返還などと言われたら、気の小さい棚田の百姓は、断るしかないから、断った。それでも、これだけ有名になった四谷の千枚田、底辺で黙々と働く百姓(維持管理)がいなければ有名も

へツタクレもない。

仮設トイレに入る協力金の一円、拾円が年間四五百枚では保存会の運営資金にはチョットさびしい。どうも、最近、愚痴が多いのは、判っているが、ついつい本音がでてしまう。

明老クラブ研修旅行

二月二十五日、連谷明老クラブ二十六人は恒例の研修旅行を三河温泉「海遊亭」と生鮮市場「ヤマスイ」で行った。

会員は演劇鑑賞・海鮮料理に舌鼓、カラオケバトルを興じた。帰路は「ヤマスイ」で海の幸をダだくさん買い込み、明日から魚ばっかりだえん・とご満悦。

研修旅行のため、毎年講師として車中でこの一年間における世間の情報を話すことが恒例となっており、丸山淳志会長からは連谷の現状と課題についての依頼があったが、折角の楽しい車中、本題の硬い話はソコソコにして・今日の研修では「力はないが、老人には経験と知恵がある」ことを自慢に、今まで聞いたことや、知り得たことを孫、子に継承出来ればと、研修題材を「観天望気」として資料を作成、会員に解説した。

研修資料(抜粋)

ことわざ	いわれ
夕焼けの次の日は晴れ	地球上の多くの場所では天気が西から東へ移動するため
太陽や月に輪(暈)がかかると雨か曇り	温暖前線の接近に伴う巻層雲のため
ハチが低く飛ぶと雷雨	湿度が高いと昆虫が低く飛ぶとされる
ツバメが低く飛ぶと雨	湿度が高いとえさとなる昆虫が低く飛ぶため
アマカエルが鳴くと雨	体が乾くとくたびれる。濡れると喜んで鳴く
ネコが顔を洗うと雨	湿度が高いとき顔や髭に水滴がつきやすくなる。それを猫が拭うためとされる
山に笠雲がかかると雨や風	低気圧や前線に伴う風により、湿度の高い空気が山の斜面を上って水蒸気が凝縮するため
上り雲(北に向かう雲)は雨、下り雲(南に向かう雲)は晴れ	低気圧の前面は南寄り、後面は北寄りの風となるため
飛行機雲がすぐに消えると晴れ	上空の湿度が低いため



古宿の梅(昨年)

しんしろアジェンダ21市民会議
三月三日、新城文化会館において標記の会議が登録団体、企業、一般から十六名が参加して開催された。(舜)は多様な生態系と共生するまち・保全と創出、豊かな自然の保全について発言した。

社員研修

四月四日、横浜、ゴム新城工場の新入社員研修が行われる。

行 平成三十年三月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
文責 小山舜二